



# 校長室だより

校長 山崎 聡子

## 2 学期終業式

12月24日(火)、2学期の終業式を迎えました。大きな事故もなく、子供たちが元気に今日を迎えることができたことをうれしく思います。

インフルエンザ、発熱等でお休みする子供たちも多くおりましたので、体育館に集まって終業式を行うのではなく、リモートによる式に変更しました。

終業式の前に、表彰式を行いました。11月の朝会の時にも、表彰式を行いました。その後、新たに賞状が届いた子供たちの表彰をしました。

終業式では次の内容について話をしました。

- ・ 漢字の「辛い」と「幸せ」では、一本の線が入るだけで意味が大きく変わることを。
- ・ 学ぶのために来日したカメルーン出身のアフリカの学生さんが、人と人とのつながりの中でもらった励ましの言葉が、辛さを幸せな思いに変えてくれたという話の紹介。
- ・ 2学期の始業式で話した内容の振り返りとして、パリオリンピックで辛い思いをした選手が、気持ちを立て直すことができたのは、周囲からの励ましの言葉や温かな言葉であったこと。
- ・ 校舎の中には、思いやりの木がたくさんあり、誰かの「幸せ」につながることで日々の生活、特に2学期の中でたくさんあったこと。一人一人の支えが幸せの一本であったこと。
- ・ 2学期の締めくくりとして、一緒に過ごした友達の感謝の言葉を伝えていってほしい

こと。

- ・ 冬休みの過ごし方として次の2つ。

①「一年の計は元旦にあり」という言葉があるように、一年の計画は、年の初めの元旦に立てるとよいこと。一年の始まりに計画を立てることで、一年間の過ごす意味が出てきて、一日一日を大切に積み上げていくことができる。元旦に「今年はこれを目標にしよう」「今年はこれをやっといこう」という新たな目標や計画を立てていくとよいこと。

②命を大切にすること。

- ・ 交通事故に気を付けること。信号は青になってもすぐ渡らず、右左右をよく確かめて渡ること。飛び出さないこと。
- ・ 体の健康に気を付けること。早寝・早起きをして、朝ごはんをしっかりと食べ、運動して、生活リズムを整えること。

2024年、保護者の皆様、地域の皆様にとってどのような一年間でしたでしょうか。私自身は、毎年思うことですが、いつも多くの力に支えられていると感じています。保護者の皆様、地域の皆様にはもちろんのこと、子供たちにも支えられました。関わってくださった全ての方々に感謝申し上げます。

明日から約2週間の休みとなりますが、子供たち、保護者の皆様、地域の皆様方にとって、充実した時間となりますことを心から願っています。また、新しい年が素晴らしい年になりますこともお祈り申し上げます。

始業式は、2025年1月8日(水)です。元気に登校してくる子供たちを教職員一同、楽しみにしております。